

# 令和4年度匝瑛市生涯学習センター一運営審議会会議録

- 1 日時 令和5年2月20日(月)  
開会 午後1時30分 閉会 午後2時20分
- 2 場所 野栄福祉センター2階 娯楽室
- 3 出席委員 溝口澄子委員 熱田康雄委員 依知川雅一委員  
須之内靖子委員 五鬼田実智子委員 押尾悦子委員  
熱田成治委員 熱田節子委員 野仲哲二委員
- 4 出席職員 教育長 二村好美  
(事務局) 生涯学習課長 畔蒜稔行  
生涯学習班副主幹 熱田誠寛  
生涯学習班副主査 増田泰之

5 開 会

- 6 挨拶 二村好美 教育長

- 7 委員長、副委員長の選出について  
会長に熱田康雄委員、副会長に野仲哲二委員を選出した。

8 議事

(1) 令和4年度事業報告について

議 長 事務局の説明を求める。

事務局 資料のとおり説明。

令和4年度の生涯学習センター利用件数及び利用人数は昨年度と比較して概ね増加している。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響による時間短縮等の利用制限を行ったが、今年度は利用制限を行っていないため増加していると考えられる。

生涯学習センター主催事業については、飲食を伴う等の理由から一部の事業については中止となったが、それ以外の事業は感染症対策を講じたうえで実施した。

【(1) についての質疑】

- 委員A 資料室とはどこの部屋か。
- 事務局 2階トイレの向かい側の部屋であり、もとは図書室であった。
- 委員A 親子陶芸教室について教えていただきたい。
- 事務局 家庭教育学級の事業である。各学級の役員間で協議いただき決定した内容であり、今年度は吉田小学校と須賀小学校が親子陶芸教室を実施した。
- 委員A 匝瑳市は情報発信力が不足しているとの話を聞く。公民館のしめ縄作り教室が年末に千葉日報で報道されたと聞いている。親子陶芸教室なども市の広報部署を通じて新聞社等に情報提供すれば新聞購読者の目にも留まると思う。
- 事務局 最近では給食センターの事業もNHKに取り上げられ、反響を呼んだ。事務局としても情報発信を意識して取り組んで参りたい。

(2) 令和5年度事業計画(案)について

- 議長 事務局の説明を求める。
- 事務局 資料に基づき、「令和5年度匝瑳市生涯学習センター基本方針(案)及び令和5年度生涯学習センター主催事業計画(案)について」を説明。
- 「親子休日チャレンジ講座」について、予算等の問題を考慮し検討した結果、来年度は1コース減少し、全6コースで計画している。

【(2) についての質疑】

- 委員B 寿大学パソコン講座の対象者について教えてほしい。
- 事務局 一般公募ではなく、寿大学の学生を対象としている。
- 委員C 寿大学の内容について教えてほしい。
- 事務局 交通安全・防災教室、認知症予防セミナー、寄席、日舞団体による舞踊発表の鑑賞、移動教室などである。
- 委員A 公民館の寿大学とはだいぶ内容が違う。こちらの寿大学のメンバーはシニアクラブが中心か。
- 事務局 ほぼ同じメンバーであると聞いている。

9 その他

- 委員D 毎年、飯高檀林新緑祭にUFOが出演しているのはなぜか。他の市内団体は出演可能か。また、文化団体の高齢化についても心配である。文化振興のために飯高檀林をもっと活用で

きないか。

委員A 八日市場文化祭の展示団体についても、会員の気力が低下していると感じた。

委員B 野栄文化会も会員の高齢化については危機感を感じている。  
事務局 竹の子オーケストラという小学生の団体があり、U F OはそのO G ・ O Bである。地域に根差した団体であるが、発表の機会が少ないため、毎年ご出演いただいている。今年度はコロナ禍のため、時間短縮によりU F Oのみご出演いただいたが、今後は他の地元団体の出演についても検討して参りたい。飯高檀林の活用に関連することで、昨年、立正大学と匝瑳市で包括連携協定を結んだ。これに伴い、立正大学の教授をお招きした公開講座を2回開催し、高齢者だけでなく若い方にもご参加いただけた。また、陶芸家による作品展示も盛況であり、新聞にも取り上げられた。飯高檀林は貴重な文化資産であるため、積極的な活用や地元団体の発表の場としても、検討して参りたい。